
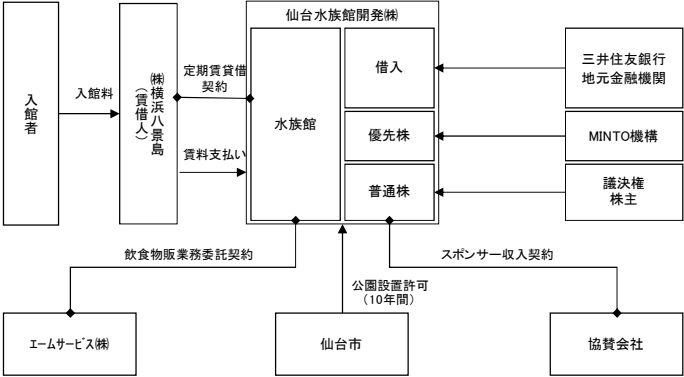


復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

<p>団体名</p>	<p>株式会社三井住友銀行</p>
<p>取組名称</p>	<p>「仙台うみの杜水族館開発」プロジェクト</p>
<p>取組概要</p>	<p>(概要) 東日本大震災で津波被害に遭った仙台港背後地における水族館開発案件</p> <p>(背景と経緯) 三井物産を中心に、水族館運営ノウハウを持つ横浜八景島と在仙企業4社が共同出資し、仙台水族館開発株式会社を設立。仙台市から土地を賃借し、約65億円をかけて建設。海の動物たちによるパフォーマンスなど、たくさんの魅力的なコンテンツを提供する施設であり、復興のシンボルとして、平成27年7月1日にオープン。</p> <p>三井住友銀行は、案件組成段階からプロジェクトに参画し、地元金融機関と協調し、案件のコーディネートとファイナンスを実施。</p> 
<p>取組成果</p>	<p>(成果) 初年度の年間入場者数は、目標100万人に対し、150万人の実績。以降も当初目標を上回る実績をあげている。また、水族館の開業に伴い創出された賑わいを周辺地域に拡げていく目的で、地元行政・財界と商業施設を運営する在京企業、金融機関が連携し、「仙台港周辺地域賑わいコンソーシアム」を設立。イベント誘致や交通アクセスの改善などの課題に取り組んでいる。</p> 
<p>その他</p>	<p>(事業化にあたってのポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興支援に熱心な首都圏の企業と被災地域の企業との共同プロジェクトであること ・宮城県・仙台市の協力や民間都市開発推進機構の制度活用等、官民が連携していること ・メガバンクと地元金融機関との協調融資であること